

19 平成18年度の主な活動

平成18年

- | | |
|-----------|--|
| 4月14日 | 府民講座(第34回) |
| 4月20日 | 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(以下「全史料協」)近畿部会運営委員会(和歌山市) |
| 5月1日 | 「所蔵資料データベースー京都北山アーカイブズー」公開資料追加 |
| 5月10日 | 永年行政文書搬入 |
| 5月15日～26日 | 所蔵資料点検・整理等のため臨時休館 |
| 5月17日 | 京都府図書館等連絡協議会(以下「京図連協」)総会(京都府立図書館) |
| 5月17日 | 新潟市議会(会派)視察 |
| 5月23日～24日 | 全史料協役員会(高山市) |
| 5月25日 | I C A 執行委員会東京開催記念講演会(東京) |
| 5月26日 | 都道府県・政令指定都市等公文書館長会議(東京都) |
| 6月1日 | 全史料協近畿部会総会及び第83回例会(大阪市) |
| 6月2日 | 近畿公共図書館協議会総会(大阪府立中央図書館) |
| 6月2日 | 鳥取県大阪事務所調査来館 |
| 6月7日 | 府民講座(第35回) |
| 6月8日 | 京図連協広報委員会(京都府立図書館) |
| 6月13日 | 第175回古文書相談 |
| 6月17日～19日 | 稲葉家文書調査(京丹後市) |
| 6月20日～21日 | 醍醐寺聖教調査 |
| 6月24日 | 全史料協近畿部会第79回古文書研究会(奈良市) |
| 6月24日 | 東アジア近代史学会第11回研究大会出講 |
| 6月29日 | 国立国会図書館長と都道府県立および政令指定都市立図書館長との懇談会
(国立国会図書館東京本館) |
| 6月30日 | 全国公共図書館協議会総会(東京都立中央図書館) |
| 7月5日 | 古文書調査(滋賀大学史料館) |
| 7月6日 | 京図連協研修研究委員会(京都府立図書館) |
| 7月8日 | 第32回公文書研究会(大阪市) |
| 7月14日 | 国立国会図書館総合目録ネットワーク研修会(国立国会図書館関西館) |
| 7月16日 | 友の会現地講座(金剛能楽堂) |
| 7月18日 | 府立大学との意見交換会(府立大学) |
| 7月20日 | 富山県歴史資料保存利用機関連絡協議会行政文書実務担当者研修会出講
(富山市) |
| 7月25日 | 府立大学文学部古文書演習(当館) |
| 7月26日 | 文化庁美術学芸課協議来館 |
| 7月27日 | 科研第3回全体研究会(当館) |
| 7月28日 | 第176回古文書相談 |
| 8月1日～9月3日 | 同志社大学図書館学実習生受入(6名) |
| 8月4日 | 滋賀県県民情報室調査来館 |

- 8月11日 収蔵品展関連講演会 学びを深めよう「尾形光琳と光琳模様」(府立大学)
- 8月11日～9月12日 収蔵品展
- 8月19日 第177回古文書相談
- 8月19日 綾部郷土史自主講座出講(綾部市)
- 8月24日～25日 醍醐寺聖教調査(醍醐寺)
- 8月25日 著作権セミナー(滋賀県庁)
- 8月26日 全史料協近畿部会第84回例会(大阪市)
- 9月1日～18日 第5回古文書解説講座受講者受付
- 9月4日 国文学研究資料館見学来館
- 9月7日 京図連協広報委員会(京都府立総合資料館)
- 9月12日 全史料協第2回役員会(名古屋市)
- 9月12日 第178回古文書相談
- 9月14日 第179回古文書相談
- 9月15日 府民講座(第36回)
- 9月16日～17日 稲葉家文書調査(京丹後市)
- 9月27日 図書館・読書施設等職員研修(京田辺市立中央図書館)
- 9月30日～10月31日 第21回東寺百合文書展
- 10月2日～6日 漢籍担当職員講習会(初級)(京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター)
- 10月5日 全史料協近畿部会例会(奈良市)
- 10月12日 レファレンス協同データベースシステム研修会(国立国会図書館関西館)
- 10月19日 府民講座(第37回)
- 10月20日 京図連協相互協力委員会(京都府立図書館)
- 10月24日 スウェーデンジャーナリスト ペーテル・アルメルッド氏見学来館
- 10月25日 京図連協研修研究委員会(アバンティホール)
- 10月26日～27日 全国図書館大会(岡山市)
- 10月27日 第180回古文書相談
- 11月4日 府民講座(第38回)
- 10月31日～11月1日 友の会見学会(美山町ほか)
- 11月6日～10日 漢籍担当職員講習会(中級)(京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター)
- 11月8日～9日 全史料協全国大会・総会・研修会(岡山市)
- 11月10日 決算特別委員会現地調査
- 11月14日 第5回古文書解説講座 初心者A・Bコース
- 11月14日 国際地籍シンポジウム関係者見学来館
- 11月15日～17日 第5回古文書解説講座 初心者Aコース
- 11月18日 府民講座(第39回)
- 11月20日～22日 第5回古文書解説講座 初心者Bコース
- 11月22日 近畿公共図書館協議会研究集会(コラボしが)
- 11月22日 行政文書閲覧利用説明(佛教大学文学部)

11月25日	京都府子ども読書活動指導者研修会（アバンティホール）
11月28日～12月1日	第5回古文書解読講座 一般Aコース
12月5日～8日	第5回古文書解読講座 一般Bコース
12月7日	京図連協拡大相互協力委員会（京都府立図書館）
12月10日	稲葉家文書調査(京丹後市)
12月14日	古文書閲覧来館(富山大学)
12月21日	全史料協近畿部会第86回例会(当館)
12月22日	全史料協ICA/SPA運営委員会京都開催実行委員会(当館)
12月22日	全史料協総務委員会現地視察(京都市内)
平成19年	
1月11日	京図連協広報委員会（当館）
1月12日	行政文書閲覧見学来館(府立大学)
1月16日	第181・182・183回古文書相談
1月17日	古文書閲覧見学来館(府立大学)
1月17日～19日	日本古典籍講習（国立国会図書館東京本館）
1月19日	行政文書閲覧見学来館(府立大学)
1月19日	第184回古文書相談
1月24日	地域資料保存・活用担当者会議(当館)
1月25日	全史料協近畿部会第87回例会(尼崎市)
2月2日	調査来館(島根県教育庁外)
2月6日～9日	近畿地区公共図書館研修(あすてっぶKOB E・神戸ファッション美術館)
2月7日	国立国会図書館関西館見学来館
2月7日	全史料協近畿部会運営委員会(当館)
2月15日	調査来館(宮崎県文書センター)
2月17日～3月25日	企画展「先人達の京都研究」開催
2月20日	全史料協ICA/SPA運営委員会京都開催実行委員会(大阪市)
2月20日	全史料協第3回役員会(大阪市)
2月21日	図書館・読書施設等職員研修（京都府総合教育センター）
2月21日	国立国会図書館総合目録フォーラム（国立国会図書館関西館）
2月21日～23日	府立大学アクター現地調査(愛知県)
2月22日	レファレンス協同データベース参加館フォーラム(国立国会図書館関西館)
2月27日	第185回古文書相談
3月1日	府民講座(第40回)
3月1日	山口県文書館調査来館
3月2日	革嶋家文書保存桐箱納入
3月7日～9日	古文書関係調査(長野県立歴史館、上田市立博物館)
3月8日	京図連協相互協力実務担当者会議（京都府立図書館）
3月9日	府民講座(第41回)
3月9日	第186回古文書相談
3月14日	行政文書京北搬送

3月15日	京都府庁旧館創建時等写真資料公開開始
3月15日	府民講座(第42回)
3月16日	近畿府県公文書館等実務担当者研究会(当館)
3月27日～28日	著作権セミナー(大阪市)
3月28日	府大アクター全体報告会(当館)

20 沿 革

- 昭和34. 34年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8 起工式
37. 11. 10 定礎式
38. 10. 28 設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和38年条例第29号）
38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙げる。翌16日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3部9係）
39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1 機構改革（係を課とし、3部9課となる）
39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4 京都府開庁100年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6 民謡調査を開始
42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3部1室9課となる）
43. 11 昔話調査を開始
45. 4 『京都新聞』（明治18年～昭和44年）のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の3部1室5課となる）
45. 9. 22 「館蔵品陳列場」（現・2階展示室）を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第2収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建 延274.76㎡）
46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31 『資料館紀要』創刊
47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課となる）
48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1,702.18㎡）
48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係となる）
48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
48. 12 東寺観智院金剛藏聖教調査を開始
49. 4 有形民俗資料調査を開始

- 49. 8 教科書を収集
- 51. 1 「京の百景」を受入れ
- 51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係となる）
- 51. 10 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52. 10 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される。
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される。
- 56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
- 57. 4 古文書センター推進事業に着手
- 57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
- 58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
- 59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
- 59. 4. 14 「草嶋家文書」及び「袈裟襷文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される。
- 60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始
- 61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
- 62. 5. 12 「古文書相談」を開始
- 63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和63年10月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和63年条例第3号）を制定公布
- 63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
- 63. 4. 18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の3課2係となる）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
- 63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
- 63. 10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始

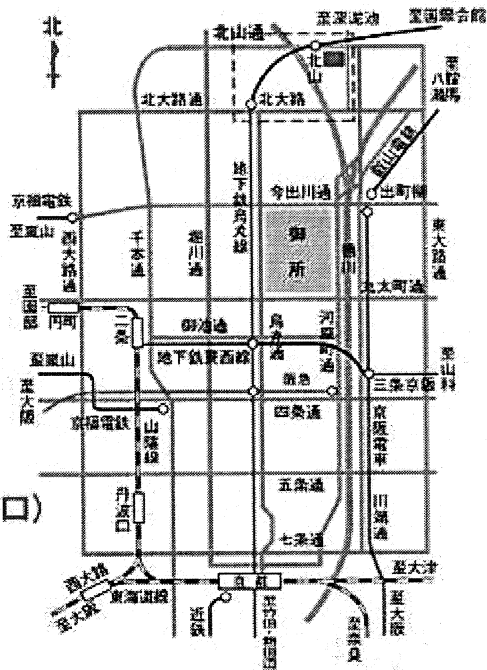
- 廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元. 10. 20 第1回「文化講座」を開催
 - 2. 10. 8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
 - 3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
 - 4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
 - 4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
 - 5. 4. 1 定例休館日を毎月20日から毎月第2水曜日に変更
 - 5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
 - 5. 11. 7 開館30周年記念事業「北山まつり」を開催
 - 6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
 - 9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
 - 9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される。
 - 10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
 - 10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
 - 11. 4 京都府20世紀歴史資料保存事業を開始
 - 12. 4 京都府20世紀資料整理事業を開始
 - 12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
 - 12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
 - 12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
 - 13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される。
 - 13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
 - 13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
 - 13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
 - 14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
 - 14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される。
 - 14. 7. 19 当館のホームページを開設
 - 14. 11. 26 「古文書解読講座」を開始
 - 14. 12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
 - 15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される。
 - 15. 11 開館40周年を迎える。
 - 16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
 - 16. 4. 1 「総合資料館所蔵資料データベース －京都北山アーカイブズ－」の公開開始

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（平成19年3月31日現在）

No.	種 別	資 料 名	点数等	概 要
1	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	18,642点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約900年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来文 書典籍類	57点	東寺の院家である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。 なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3（1867）年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。 鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟襷文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。

交通案内



京都市営地下鉄
 烏丸線・北山駅下車 (①出口)
 市バス ④ ⑧
 北山駅前下車
 京都バス ②⑧ ④⑤ ④⑥
 前萩町下車

休館日

毎月第2水曜日、祝日法に規定する祝日、
 年末年始 (12月28日～1月4日)、蔵書整理期

開館時間

午前9時から午後4時30分まで

総合資料館 業務概要
 —平成18年度—

発行日 平成19年5月30日

編集・発行 京都府立総合資料館
 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1の4
 電話 (075) 723-4831
 FAX (075) 791-9466

印刷 (株)田中プリント